

枝物講習会【1学年】 芸術作品をつくる楽しさと難しさ

7月5日、枝物講習会で花いけ体験を行いました。本講習会は、地場産業の枝物について学び、地域活性化及び貢献への意識を高めるために実施しています。

講師・技術指導者として、本校OBの石川幸太郎氏と関信一郎氏、フローリストカトレア（水戸市見川町）君島啓一氏、技術指導担当者の方々においでいただきました。

JAに勤務していた石川さんは、遊休耕地を解消しようと、平成17年に生産者9人で花桃の栽培をスタートし、JA常陸大宮地区枝物部会を立ち上げました。現在では、花桃のほかにもヤナギやミズキなどを全国の市場に出荷し、販売額も1億円を超え、県北地区の「奥久慈ブランド」として認知されています。



君島氏のデモンストレーション

花いけ体験では、君島氏のデモンストレーションを見学した後、2人1組で全員が花いけに挑戦しました。それぞれの個性を生かし、素晴らしい作品を制作することができました。

生徒代表の諸澤さんは、講師の方々に対し、「自分たちの地元の産業について詳しく知ることができた、また、芸術作品をつくる楽しさと難しさを感じた」と述べていました。また、体験を通して花いけの魅力を知り、「また挑戦してみたい」と感想を述べている生徒も多く見られました。



みんなの願いが叶いますように！



昇降口に設置された笹竹に、色とりどりの短冊が飾られています。短冊の一つ一つには、思い思いの願いが書かれており、個人的なものから友だちの幸せを願うものまで見られました。

枝物講習会でもお話しがありましたが、笹竹は地元で自然採取できる地元特産の枝物です。常陸大宮市から日本、いや世界中の幸せを願いましょう！

小瀬高 Web ページも
ご覧ください。



「ない」からこそできる！

小瀬高 **SPIRITS & PRIDE**

